

本稿は、2月6日時点で利用可能であった
情報をもとに記述されている。

2012年2月7日
日本銀行水戸事務所

茨城県金融経済概況(2012年1月)

1. 概 要

県内景気は、海外経済の減速や円高の影響などを背景に、輸出や生産の一部が引き続き減少しており、持ち直しの動きが一服している。

先行きについても、当面は横這い圏内の動きになるとみられるが、その後は、輸出の持ち直しや震災復興関連の需要の本格化などにより、緩やかな回復経路に復していくことが期待される。

2. 実体経済

(1) 公共投資

12月の公共工事請負金額(工事場所ベース)は、国、県、市町村からの災害復旧工事の発注を中心に、3か月連続して前年を大きく上回った。

▽ 公共工事請負金額(工事場所ベース) (前年比、%)

	2011年 4～6月	7～9月	10～12月	2011年 9月	10月	11月	12月
茨城県	2.5	▲11.6	64.2	▲6.1	79.9	69.1	40.5
全国	▲9.3	▲3.4	3.6	3.3	3.2	6.8	0.6

(2) 輸 出

輸出は、海外経済の減速や円高の影響などを背景に、一般機械(建設機械等)、鉄鋼、輸送用機械(自動車部品等)の一部が引き続き減少している。

(3) 設備投資

12月短観調査(企業短期経済観測調査)結果をみると、2011年度の設備投資は、製造業が被災した設備の復旧投資や能力増強投資を中心に前年を3割強上回る計画となっているほか、非製造業の計画も前年比プラスに上方修正され、全体では前年を16%上回る計画となっている。

(4)個人消費

12月の大型小売店売上高(日本銀行水戸事務所調べ、11か店ベース)は、食料品や冬物衣料品などの売り上げが好調で、全体でも3か月連続して前年を上回った。

1月入り後も、冬物衣料品や身の回り品などが底堅い売れ行きを示している模様。

▽ 大型小売店売上高 (前年比、%)

		2011年 4～6月	7～9月	10～12月	2011年 9月	10月	11月	12月
茨城県	日本銀行水戸事務所調べ	▲ 0.5	1.9	3.2	▲ 0.8	2.3	2.1	4.8
	経済産業省調べ	1.0	1.5	n.a.	▲ 0.4	2.2	0.5	p 3.2
全国	経済産業省調べ	▲ 1.6	▲ 1.7	p▲1.3	▲ 3.6	▲1.4	▲2.5	p▲0.4

(注)「p」は速報値。

1月の乗用車新車登録台数は、タイ洪水の影響による一時的な供給不足が解消しつつある中で、登録台数が大幅に減少していた前年を4割近く上回った。

▽ 乗用車新車登録台数 (前年比、%)

	2011年 4～6月	7～9月	10～12月	2011年 10月	11月	12月	2012年 1月
茨城県	▲39.3	▲20.7	23.4	28.1	23.8	17.9	37.1
うち普通・小型	▲41.5	▲25.4	23.6	27.0	24.5	18.8	42.6
全国	▲33.6	▲17.8	24.6	27.5	25.1	20.9	38.4
うち普通・小型	▲36.5	▲19.8	25.2	28.3	23.9	23.4	42.7

このところの家電販売状況をみると、節電効果を謳った白物家電(冷蔵庫等)、暖房器具、携帯電話などの売り上げが前年を上回っており、全体でも回復傾向にある模様。

観光については、県内の主要観光施設等への入り込みが引き続き回復傾向を示しているが、全体としては厳しい状況が続いている模様。

(5)住宅投資

12月の新設住宅着工戸数は、持家や分譲の減少により、2か月振りに前年を下回った。

▽ 新設住宅着工戸数 (前年比、%)

	2011年 4～6月	7～9月	10～12月	2011年 9月	10月	11月	12月
茨城県	▲4.0	▲3.5	▲4.9	▲25.5	▲7.2	1.1	▲8.6
うち分譲	21.4	▲47.2	14.6	▲42.5	▲20.9	72.0	▲6.3
全国	4.1	7.9	▲4.5	▲10.8	▲5.8	▲0.3	▲7.3
うち分譲	24.0	16.7	4.5	▲7.7	3.1	13.1	▲2.2

(6)生産

輸出の減少を受けて、一般機械(建設機械等)、鉄鋼、輸送用機械(自動車部品等)などの一部で、生産水準を引き下げる動きが引き続きみられる。

▽ 鉱工業生産指数 (季節調整済指数の前月<期>比、()内は原指数の前年比、%)

	2011年 4～6月	7～9月	10～12月	2011年 9月	10月	11月	12月
茨城県	▲3.4 (▲7.1)	8.5 (▲1.6)	n.a. (n.a.)	▲2.4 (▲1.9)	7.0 (3.7)	1.1 (4.1)	n.a. (n.a.)
全国	▲4.0 (▲6.8)	4.3 (▲2.1)	p▲0.4 (p▲2.7)	▲3.3 (▲3.3)	2.2 (0.1)	▲2.7 (▲4.2)	p 4.0 (p▲4.1)

(注)「p」は速報値。

(7)雇用・所得環境

12月の有効求人倍率は0.73倍となり、雇用環境は厳しい中にも改善傾向を示している。

また、11月の所定外労働時間も前年比増加幅を拡大するなど、所得環境にも改善傾向が窺われる。

▽ 有効求人倍率 (季節調整済、倍)

	2011年 4～6月	7～9月	10～12月	2011年 9月	10月	11月	12月
茨城県	0.61	0.66	0.71	0.68	0.70	0.72	0.73
全国	0.62	0.66	0.69	0.67	0.67	0.69	0.71

3. 物 価

11月の消費者物価指数(除く生鮮食品)は、テレビ等の値下がりにより、11か月連続して前年を下回った。

▽ 消費者物価指数(生鮮食品を除く総合) (前年比、%)

	2011年 4～6月	7～9月	10～12月	2011年 9月	10月	11月	12月
茨城県	▲0.6	▲0.1	n.a.	▲0.1	▲0.6	▲0.6	n.a.
全 国	▲0.3	0.2	▲0.2	0.2	▲0.1	▲0.2	▲0.1

4. 金 融

(1) 預金・貸出

12月末の県内金融機関の預金残高は、14兆9,165億円、前年比+4.8%と引き続き高い伸びを示している。

一方、貸出残高は、7兆4,522億円、前年比▲0.0%と前年並みであった。

(2) 貸出約定平均金利

12月末の県内金融機関の貸出約定平均金利(ストックベース)は、2.120%と14か月連続して前月を下回った。

(3) 銀行券

1月中の銀行券の動きをみると、発行が244億円、還収が397億円で、152億円の還収超となった(前年は156億円の還収超)。

(4) 企業金融

復旧・復興支援のための各種融資・保証の利用もあり、落ち着いた状況が続いている。なお、12月短観調査結果では、製造業でも資金繰りが楽であるとする先が増加した(製造業の資金繰り判断 D.I.「楽である」超幅2%ポイント<9月調査「苦しい」超幅▲8%ポイント>)。

5. 企業倒産

1月の企業倒産(負債総額10百万円以上)は、件数(6件)、負債総額(19億円)ともに、前年を下回った。

以 上